

## 「小学校英語活動指導者講座」紹介（英語科）

当センターでは、県内の小学校からの要望に応え、平成16年度から「小学校英語活動指導者講座」を実施しています。今年の夏に行われた講座の一部を紹介いたします。

### 1 「小学校英語活動に関する協議」

- ・英語活動の組み方 ・ALT等とのTTの際の留意点 ・中学校英語との接続

### 2 「効果的な英語活動」～大熊町立大野小学校の実践例～

- ・ALTの根本アリソン先生と佐伯哲夫・小竹千鶴子両先生による楽しく充実した活動の紹介でした。具体的には以下のような内容を含む講義及び演習でした。
- ・1単位時間の活動の流れ ・具体的な活動の素材 ・効果的な教材の紹介
- ・学級担任のかかわり方

### 3 「アイデア交換会（実践編）」

- ・低中高学年に分かれて協議し、具体的に何を素材に、どう活動するかを練った上で、模擬授業をしていただきました。

以上のように「即実践できそうな内容に絞る」ことでより実践的な研修となりました。今年度は4地区（会津・南会津・相双・県北）の合計27名の先生方が受講しました。受講者からの感想等を一部紹介いたします。

- ・各小学校で大変悩んでいると思うので、今回参加者から多くの意見が聞けて良かったです。
- ・大熊町の実践例が大変参考になり、これをもとにしていくつかのバリエーションに発展できるのではないかと感じました。
- ・講義あり、演習あり、模擬授業の発表ありの盛りだくさんの内容で疲れましたが、楽しく研修できました。
- ・1時間の流れの中で担任がどのようにかかわるかがだいたいイメージできました。
- ・今回の講座を通して、ALTや教材・教具購入などの諸条件整備があれば、小学校の先生方ももっと積極的な取り組みができると感じました。

以上の感想から、先生方が苦勞しながらも各自創意工夫して、実践に前向きに取り組んでいる様子を感じ取れます。

最後に、本講座を通して感じた小学校における英語活動を実践する際の留意点を3点述べます。

- 担任が中心となり英語活動の計画を練る。（指導者の問題）
- 教材は児童の実態に合わせて念入りに工夫し、準備する。（適切な教材の問題）
- 五感を用いた音声中心の活動を組む。（活動内容の問題）

今後とも、各小学校において実態に合わせた充実した「小学校英語活動」が実践されることを切に要望いたします。